

早いもので令和7年もあとわずかとなりました。1年生はこれまでに高校生活のリズムをつくることができたでしょうか? 2年生は修学旅行も終わり、来年度に向けて進路をしっかりと考へる時期となりました。



冬休みは、短い期間ではありますが、生徒の皆さんには、今までの総復習と苦手分野の克服・学習方法の確立を目指してください。夏の進路便りにも書きましたが、「自己コントロール力」「計画&実行力」をつけるのにとてもよい機会です。それらが達成できる冬休みとなることを心から期待します。

1. 3年生の進路決定状況 (12/19 現在) 主な合格・内定先

※ 進学は、指定校推薦、公募制推薦、総合型選抜の結果

【 現までの主な合格先・内定先 】

＜四年制大学＞

医療創生大、江戸川大(7)、神奈川大、神田外語大(3)、国士館大、駒澤大、産業能率大(2)、昭和女子大、城西国際大(2)、情報経営イバ-ショ専門職大、聖徳大、多摩美術大、千葉工業大(4)、千葉商科大(4)、中央学院大(3)、つくば国際大(6)、帝京科学大(7)、東海大、東京家政大(2)、東京電機大(5)、東京農業大、東京保健医療専門職大、東京未来大、東邦大、獨協大(2)、日本大(2)、文京学院大(2)、武蔵野大(3)、明海大(2)、目白大、立正大(4)、流通経済大(5)、麗澤大(2)

＜短期大学＞

聖徳大短大

＜専門学校＞

茨城県立つくば看護(2)、慈恵柏看護(4)、筑波学園看護(3)、きぬ看護(2)、千葉・柏リハビリテーション(3)、医療創生大学歯科衛生(4)、取手歯科衛生、江戸川学園おおたかの森(2)、大原簿記法律(3)、大宮呉竹医療、国際理容美容(2)、資生堂美容技術、千葉デザイン学院、中央工学校(3)、つくば栄養医療調理製菓(3)、筑波研究学園(4)、つくば国際バッセ(2)、つくばビジネスカレッジ(7)、東京ITプロテクション &会計、東京医療学院、東京リハビリテーション &ブライタル、東京ズーム・レクリエーション、東京製菓、東京デザイン、東京デザインクリエイション、東京ビデオスクール、東京ビューティーアート(2)、東京未来大学福祉保育、東京リゾート&ズーム(2)、東邦学園音響、東洋美術学校、日本工学院(2)、日本自動車大学校(2)、日本総合医療、服部栄養、ハリ総合美容(5)、ミ・パリビューティ(2)

＜就職＞

キヤノン、SMC、東部ガス(3)、東武化学、LIXIL(3)、東名化学工業、ニチコム、クボタ、木原製作所、KSTレーニングセンター、つくばみらい市役所職員、常総市役所職員、常総広域消防職員、茨城県職員、茨城県警察官、税務職員、刑務官、自衛官



今年度の傾向、来年度にむけて

【大学】①本校では、例年同様、推薦型選抜や総合型選抜の受験者が多い。指定校推薦出願者56名(昨年より2名増)、公募制推薦出願者11名(昨年より15名減)、総合型選抜出願者35名(昨年より8名減)。一般選抜の受験予定者は、こち

らも例年同様、約40名である。

②全国的な傾向

○受験人口減少と合格者数増（入学定員増）で、特に『一般選抜』では、数年前に比べて競争緩和が進む。

○推薦型選抜や総合型選抜などの年内入試は、人気が維持されているところも多い。

○系統別人気について

- ・「生活科学」「薬学」系で志望者数がやや減少
- ・「語学・国際」「法」「経済・経営」「農学」系の志願者数はやや増加
- ・「情報系」「データサイエンス系」の人気は継続

○国公立大では難関大の志望者数は回復

- ・入試難易度が高い大学の志望者数は安定
- ・地方国公立大では受験人口減少の影響が大きく、減少傾向

○浪人生は今年も少ない

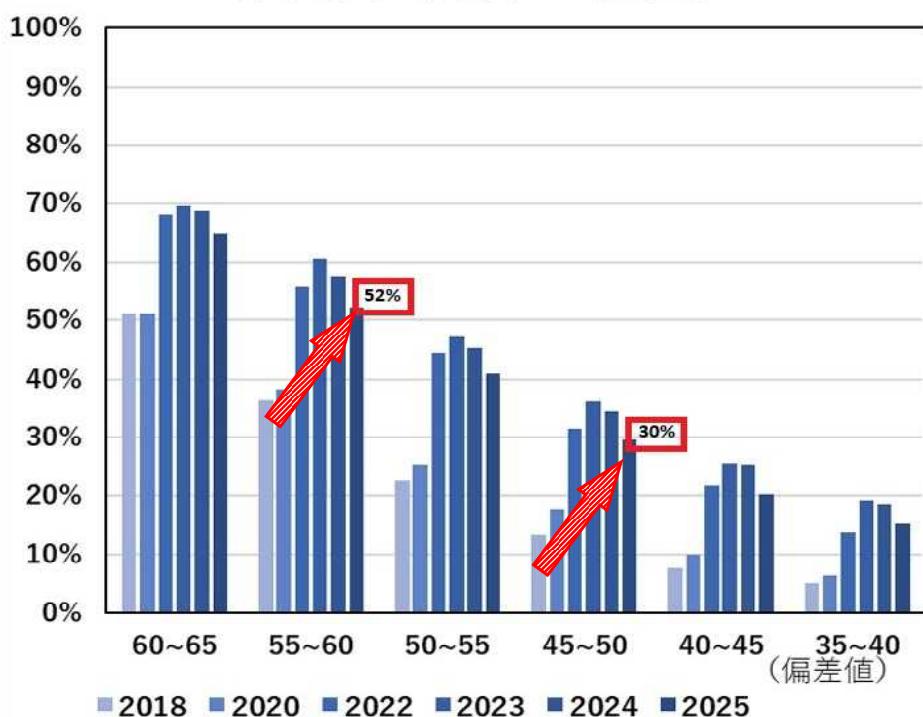
○私立大では難関校は人気を維持も、その他は全体的に年々合格しやすい状況へ

（ハネセコーポレーションの資料）



（合格率）

日東駒専（文系）一般方式



「一般方式（一般選抜）」の入試では、上記の例で、

- ・2018年度入試では偏差値55~60あった生徒でも合格率36%
→2025年度入試では同じ成績レベルの生徒の合格率は52%まで上昇
- ・偏差値が50を切る層（45~50）の生徒では、
2018年度合格率13%が、2025年度は30%まで上昇。
- ・2017~2019年度は、国の指導による「私立大学の入学定員厳格化」の影響で、各大学とも合格者数をかなり減少させたため、どの大学も一斉に難化。
- ・ここ5年間は、大学の入学定員増加申請などにより、一気に難化が解消され、受験人口の減少も伴って、厳格化以前よりも入りやすくなった大学も。

※ 伊奈高生(全国の高校生もだが)にも、より上位の大学を目指すチャンス！

ただし、早期からのしっかりした準備(受験勉強)もせずに合格出来るわけはない。

推薦型選抜や総合型選抜を希望している生徒のみなさんへ

「指定校推薦」については、人気の大学・学部・学科は、これから「人数枠の削減・減少」が行われる可能性もある。

また「公募制推薦」や「総合型選抜」でも、入試に「学力」を問う「学科試験」が含まれるようになってきた。

1、2年生の頃から『一般選抜』を視野に入れた十分な学習量が求められる。

〔専門学校〕

コロナ影響時は、近場の学校を選択する生徒が多かったが、コロナが収まってからは以前のように首都圏の学校を選択する生徒が増えた。分野としては、看護医療、リハビリ系の学科を始め、美容系やペット関係、保育系、調理栄養製菓など多種におよんだ。学校選択のポイントとしては、とにかくオープンキャンパスに多数参加して、比較検討することが大切である。ただし、オープンキャンパスでは、学校の良い面のみをアピールされるので、より厳しい目をもって臨むようにする。(資格の取得率や退学率、本当の就職率などのデータを知る)

〔公務員、就職〕

公務員は、ここ数年倍率が低下しており、以前のような狭き門でなくなりつつある。早め(2年次秋頃からでも)に本格的な公務員対策の勉強(校内での課外あり)を始め、志望理由などの面接対策も行えれば、十分合格が狙える。

民間企業への就職については、就職担当教員による課外が2年次後半から行われており、課外参加の生徒はすべて希望先の内定を得ている。

「人物重視」の傾向の強まり

『コミュニケーション能力』…面接官の視点「自分の部下として活躍でき

そうか」「職場に適応して頑張れそうか」。日頃から「何を話すか」

そして「どのように話すか(伝えるか)」を意識しよう。

2. 入試情報のチェック

○ 大学入試改革について

5年前の入試から「センター試験」に代わって『大学入学共通テスト』が実施されています。社会環境が大きく変化している中、求められる力が変わっていることによります。このことから大学教育が変わり、大学入試改革につながっています。新しい入試の特徴は、

「①知識・技能だけでなく、思考力・判断力・表現力を重視する」
「②能力・意欲・適性などを多面的・総合的に評価する」となっています。
高校の3年間でどのような活動をしてきて、どのような力が身についたのか
が、一層問われるようになります。

○ 大学入学共通テストについて

現3年生が受験する「令和8年度大学入学共通テスト」の実施要項です。

＜令和8年度大学入学共通テスト時間割＞

試験日	試験教科・科目		試験時間	
1/17 (土)	地理歴史 公民	「地理総合、地理探究」 「歴史総合、日本史探究」 「歴史総合、世界史探究」 「公共、倫理」「公共、政治・経済」 「地理総合/歴史総合/公共」	2科目選択 9:30～11:40 1科目選択 10:40～11:40	
		国語	13:00～14:30	
	外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」 「中国語」「韓国語」	【リーディング】 15:20～16:40	
			【リスニング】 『英語』のみ 17:20～18:20	
	理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」 「地学基礎」「物理」「化学」「生物」 「地学」	2科目選択 9:30～11:40 1科目選択 10:40～11:40	
1/18 (日)		数学①	13:00～14:10	
		数学②	15:00～16:10	
		情報	17:00～18:00	



- ・すべて『マークシート式問題』です。
- ・思考力・判断力・表現力を問う問題とするために、文章量や資料などの情報量が増え、より「読解力」が必要となりました。例えば、数学の出題でも「太郎さんと花子さんの会話文形式の問題」などのタイプが毎年出題されます。
- ・英語のリスニングでは、「1回読み（以前は2回読み）」の大問もあり、また4人の会話を聞いて答える問題も出題されたこともあります。

★昨年度からの「新課程・新科目」の共通テスト(R7年度入試)について

- ・科目「情報I」の追加（国立大では受験必須。公立大や私立大では選択科目の1つとして利用多数）。私立大の一般選抜では、影響はあまりなかった。
- ・数学②の科目が「数学II BC」に一本化して、時間が10分延長
- ・国語が10分延長。現代文の分野の大問1題が追加。
- ・地歴公民は、科目の大幅な変更により、2科目受験の際はその組み合わせに注意。

○ 英語の資格・検定試験の入試活用について

「各大学・学校ごとに資格やスコアを入試に活用する方式」は**拡大**しています。

英検の資格取得には、低学年（高校1年時）から積極的に取り組み、

ぜひ

2年生の早い時期に英検準2級取得、 3年生の夏までに2級取得 を目標に励んでほしいと思います。

本校の英検への取り組み	<ul style="list-style-type: none">2年生は、全員が受験（今年度は1月回。学校で実施）。他学年についても、年間3回の検定について、学校で希望者を募り、1次試験は学校で受験。2次試験は指定会場で受験。毎月実施されている「1day S-CBT」方式を受験希望の場合は、個人で申し込み。受験会場は、柏、水戸、秋葉原など。
-------------	---

- ＜参考＞
- ・茨城大学では、『農学部では公募制推薦出願に英検2級レベル（スコア1825以上）が必須』、『工学部でも公募制推薦出願に英検準2級レベル以上が必須で、また一般選抜ではスコアにより加点』、『人文社会科学部でも公募制推薦で英検2級レベル以上は加点』など。
 - ・東洋大学の総合型選抜（基礎学力型）では、英検スコア1980点で英語テスト80点換算、2150点で英語テスト90点換算。
 - ・いくつかの私立大や専門学校では、準2級や2級取得者は、入学金や授業料の一部を免除。など



○ 入試の名称や内容の変更について

5年前の入試から、「一般入試」「推薦入試」「AO入試」の名称が変更になりました。

「一般入試」→『一般選抜』

「推薦入試」→『学校推薦型選抜』（以下、推薦型選抜）

「AO入試」→『総合型選抜』

「推薦型選抜」と「総合型選抜」について

① 出願時期・合格発表時期

- ・総合型選抜 「出願時期：9月以降」「合格発表時期：11月以降」
- ・推薦型選抜 「出願時期：11月以降」「合格発表時期：12月以降」



② 試験内容の変更

従来の面接や小論文に加えて、「大学入学共通テスト受験」や「教科・科目に関わる学力テスト」、「口頭試問」、「プレゼン」などを課す大学が増加し、より『学力』が求められることになります。

4. 奨学金について

○日本学生支援機構の奨学金

- ・全国の大学生の多くが利用しているもの。大学だけでなく専門学校進学でも利用可。
- ・返済が必要な「貸与型」と返済不要の「給付型」がある。
- ・給付型は申請対象となるかどうかの確認（世帯年収による）が必要。授業料・入学金の減免も世帯年収によって額が変動する。
★2025年度から、多子世帯など対象世帯の拡大（条件付き）も。
- ・「貸与型」には、『無利子（第一種）』と『有利子（第二種）』があり、第一種の基準（収入額や成績）は厳しめ。

- 申込の手続き時期は、次の2パターン。

『**予約採用**』…高校在学中に申込みしておくもの。無事に採用となった場合は、入学後すぐに受給が始まる。多くの家庭はこちらで申込み。

『**在学採用**』…大学や専門学校に入学してから申込むもの。入学後すぐには受給はできない。入学後の状況により申込みを行う家庭用。

◎『**予約採用**』について

- 例年、3年生の「4月下旬」に、担任から生徒に申込みが開始することを連絡。
- 希望した生徒に「申込みについての資料」を配布。
- 生徒が家庭に「奨学金の申込みが始まること」を伝えない場合があり、注意。
- 各家庭で、インターネットで申し込み。必要書類を学校に提出（5月下旬）
- ほとんどの生徒が、この5月中に申込み完了。
- 進路変更や家計急変などの対応のため申込み期間が、10月まではある。

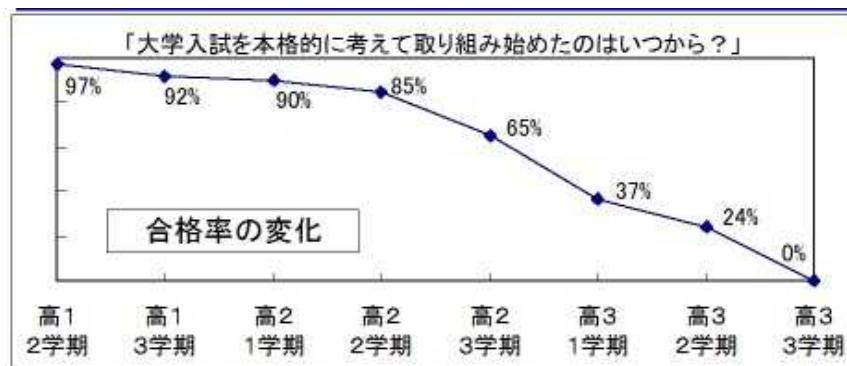
【注意】奨学金の受給は、入学後に始まるため、入学手続き時の納入金（入学金や前期の学費など）としては原則使えない。



- 制度の詳細は、日本学生支援機構のホームページを参照。
- 文部科学省の「修学支援新制度」のページも参照

5. 受験に向けた学習

◎ 受験勉強のスタート時期と合格率



第一志望に合格した人のほとんどは、遅くとも高2の秋までに大学入試を見据えて本格的に受験勉強を始めています。

＜本格的に受験勉強を始めるとは？＞

- 一気に学習時間を何時間も増やすということではない。
- 日々の学習（授業・宿題・予復習）を徹底する。
- 宿題はやらされているのではない。一題一題を受験勉強の1つと捉える。
- 宿題以外で、**自分のために自分で考えた課題**（毎日少しづつ積み重ねていけるもの）を課す。1日15分程度からのスタートでよい。毎日必ず実行する。1日15分でもそれは立派な受験勉強といえる。3年生に向けて少しづつ内容と時間を増やしていくべき。

→ 『**スタディサプリ**』も活用しよう!!

先生から配信された「課題」に取り組むだけでなく、自分で計画を立てて、動画を視聴し学習に取り組もう。

6. 就職・公務員関係

(1) 公務員について

- ・「公務員受験対策の講習会」を希望者対象に実施しています。
- ・毎月1回、水曜日の放課後に大原学園専門学校柏校から講師の先生を招いての講習会を無料で開催し、また、随時本校担当教員による面接などの対策を実施しています。現1、2年生向けの講習は10月から開始され、現在24名の生徒が受講しています。まだ参加しておらず、希望がある場合には担任の先生に申し出てください。早期からの対策が合格への近道です。

(2) 民間企業への就職について

- ・企業の採用試験では、「3年間の成績(評定)」が重視されます。また、なにより『欠席・遅刻・早退』が少ないことがとても大切です。生活のリズム、健康管理に常に注意してください。
- ・2年生希望者対象に、「就職課外」を実施しています。11月から毎週1回放課後に本校の就職担当教諭がおこなっており、来年9月の採用試験に向け、心構えや求人票研究、適性検査・面接練習などに取り組む予定です。

7. 冬休みを有意義に過ごそう

(1) 起床・食事・就寝・学習開始時間をできるだけ固定しよう

冬休みも生活リズムを一定に保つことが大切です。スマホ、ゲーム、テレビなどの時間をコントロールし、学習時間を確保しましょう。



(2) 来年の模試に向けての学習計画を立てよう

2026年 1月16日（金）進研模試〔1、2年生〕

2月16日（月）進研マーク模試〔2年生〕

(3) 進路について考えよう

1年生は「文系・理系の選択」 → 「学部・学科&入試科目の検討」

2年生は「学部・学科&入試科目の検討」 → 「具体的な進路先の検討」

これから進みたい方向がはっきりと見えていない人は、冬休み中に、「どんなことに興味があるのか」「高校卒業後に何を学びたいのか」「将来どんな仕事に就きたいのか」など、自分の将来の夢についてじっくりと考えてみましょう。